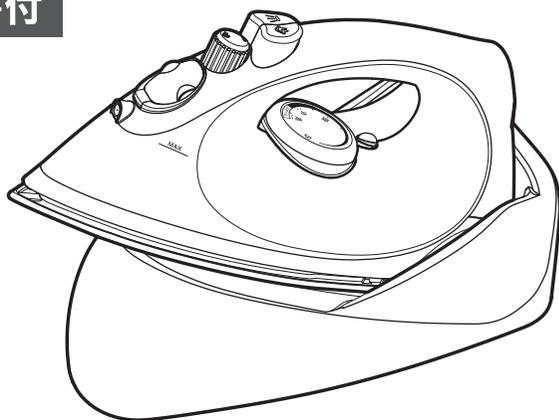


コードレススチームアイロン BIM-CSI01H

取扱説明書

保証書付



も く じ

安全上のご注意 P 1 ~ 2
仕様 P 2
各部の名称とはたらき P 3
ご使用の前に P 4 ~ 6
スチームアイロンの使いかた P 7 ~ 9
ドライアイロンの使いかた P 10
上手な使いかた P 11
お手入れと保存 P 12 ~ 13
修理・サービスを依頼する前に P 14
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

●仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は、「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	電源は交流100V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 ほかの器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・やけど・感電の原因になります。		本体とスタンドの接続部はきれいに手入れをしておく。 水分やホコリなど付いていると、ショート・火災の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属類など異物を入れない。 感電や異常動作をしてけがの原因になります。		使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	本体に損傷箇所があるとき、本体から水漏れが確認できるときは、使用しない。 けがや感電の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
アイロンの近くで可燃性ガス(ベンジンなど)が発生するものを使わない。 火災・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	
スタンドの接続部に針金やピンなどで触れない。ホコリを付着させない。 感電の原因になります。お手入れするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、使用しない。電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	
 指示	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

注意

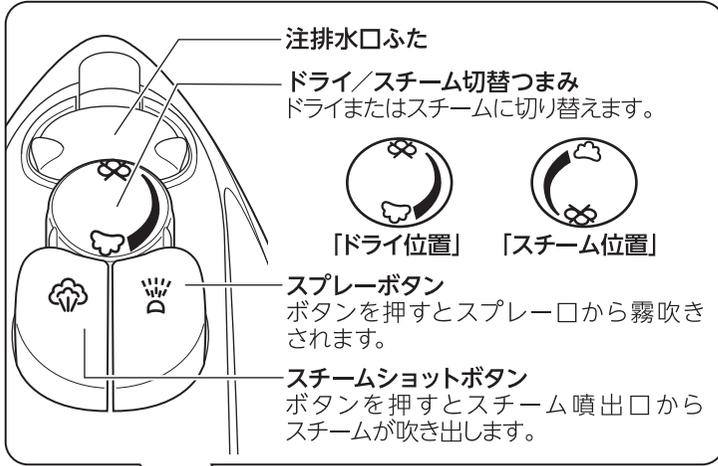
 禁止	スチームショットの蒸気を手やひざ、身体にかけない。また、着用したままの衣類にかけない。 やけどの原因になります。	 禁止	業務用として使用しない。 けが・やけど・故障の原因になります。
	アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない。 湯滴が出て、やけどの原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後すぐは高温部(かけ面、スチーム噴出口)に手を触れない。 やけどの原因になります。
	スチームショットボタンを連続して早く操作しない。 5秒間隔より早く操作すると湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	総表示より高い温度に合わせて、アイロンをかけない。 布地を傷める原因になります。		注水は計量カップを使って、水をこぼさないようにする。 感電・故障の原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になります。		使用していないときは、必ずスタンドに置く。 変形や傷の原因になります。
	使用後、電源コードを本体に巻き付けない。 コードが破損し、火災・感電の原因になります。		ボタン、ファスナーなどの固いものにはアイロンをかけない。 かけ面コーティングを傷める原因になります。
	アイロンのそばを離れるときは通電したままにしない。 温度調節つまみを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。		水道水以外の液体を入れない。 故障の原因になります。
	注水するときは、ドライ／スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせる。 「スチーム位置」で水を注ぐと、湯滴が漏れ、やけどの原因になります。		湿った衣類(霧吹きした衣類)はドライアイロンかけをする。 スチームでアイロンかけをすると、湯滴が出てやけどの原因になります。

仕様

型名	BIM-CSI01H
本体サイズ	約 250(W)×130(H)×105(D) mm (本体のみ) 約 280(W)×200(H)×135(D) mm (スタンド設置時)
本体質量	約 550 g (本体のみ) 約 1.0 kg (スタンド込)
本体色	グレー
電源コード	約 1.5 m
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
水タンク容量	約 140 ml
蒸気発生方式	滴下式
スチーム量	約 6~10 g / 分
安全装置	温度ヒューズ (240℃)
付属品	スタンド・計量カップ・取扱説明書(保証書付)

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
 (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

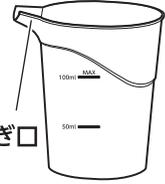
各部の名称とはたらき



付属品

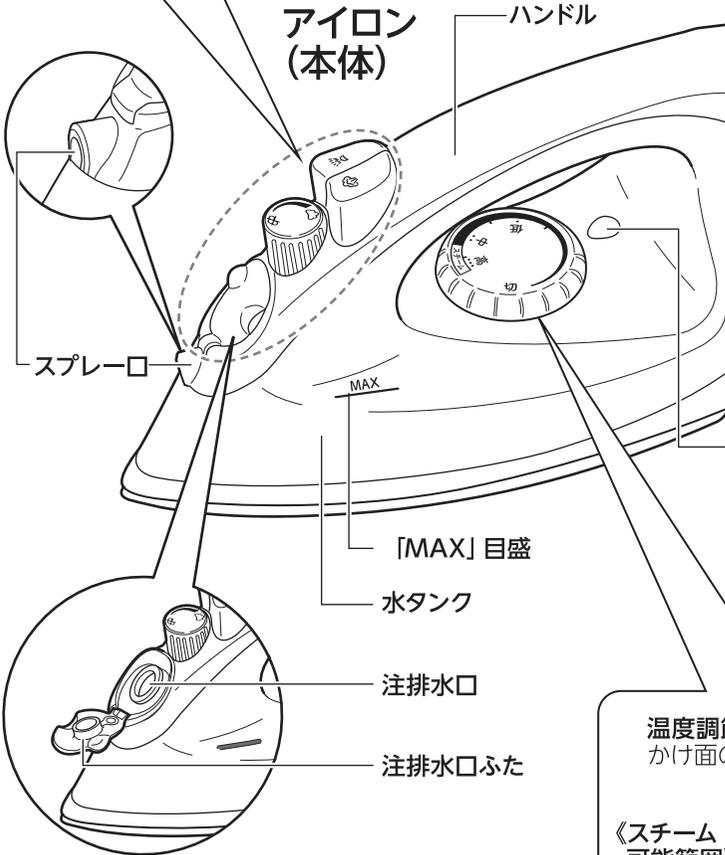
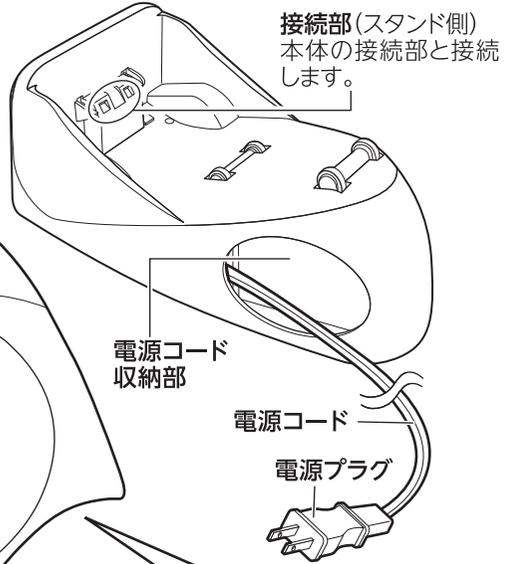
計量カップ
 (MAX100ml)

注ぎ口

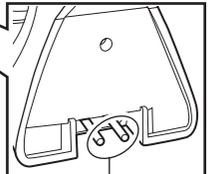


スタンド

スタンドにのせて、接続部が本体と接続されていると本体が通電して熱を蓄えることができます。



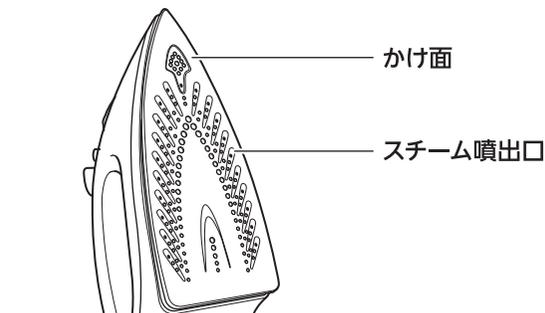
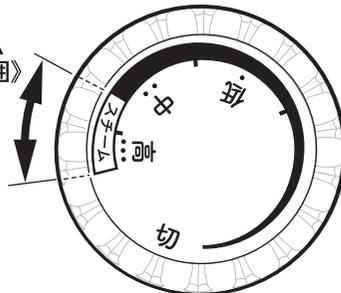
パイロットランプ
 スタンドにのせて通電中、温度調節つまみを回すと点灯します。かけ面が設定温度になると消灯します。



温度調節つまみ

かけ面の温度調節と《スチーム可能範囲》。

《スチーム可能範囲》



ご使用前に

⚠注意

- かけ面は通電するとすぐに熱くなり、電源プラグをコンセントから抜いたあと、冷めるまでに時間がかかります。使用中や使用後しばらくは、高温部(かけ面)に触れないでください。
- スタンドの上以外で本体を放置したり、目を離したりしないでください。
手をはなすときは本体が倒れたり落ちたりしない安定した状態であることを確認してください。
- 衣類以外のものにアイロンをかけたり、熱に弱いものの上で使用しないでください。
- 初めてお使いになるとき、こげくさいにおいがすることがありますが、異常ではありません。
- 「シュー、シュー」と音がすることがありますが、異常ではありません。使用後やスチームを使用しないときは、ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせてください。
- 低温・中温の布地および熱に弱い布地の場合は、初めに目立たない部分に試しがけをしてください。必要に応じて、「あて布」を使用してください。
- 洗濯した衣類に洗剤が残ったままアイロンをかけると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすいで、乾かしてからアイロンをかけてください。
- スチーム使用時に白い粉が出る場合がありますが、水あか(水に含まれる鉱物質など)が出るもので、異常ではありません。ご使用前に、不要な布で試してからお使いください。
- スプレーのりを使用するときは、必ずドライモードを使用し、毎回かけ面のお手入れをしてください。スプレーのりは洗濯物を十分に乾かしてから使用してください。アップリケなどののりの付くものについては、必ずあて布をしてかけるようにください。

コードレスアイロンについて

アイロン本体をスタンドにのせると、スタンドにある接続部と、本体後方の接続部が接続されて、アイロン本体に電力が供給(通電)されて、アイロン本体のかけ面に熱をたくわえられます。

アイロンをかけるときは、一時的にスタンドから取りはずして使用するため、アイロンに蓄えられた熱(余熱)を使用します。アイロンかけ中は、かけ面の温度が徐々に下がりますので、衣類を整えているときなどアイロンを使用していないときは、スタンドに戻して通電させて熱を蓄えるようにします。

スタンドの使いかた

1. スタンドから電源プラグ・電源コードをすべて取り出す

⚠注意

使用するときには、電源コードをスタンドに入れたままにしない。
電源コードに熱が加わり、故障の原因になります。

2. 本体をスタンドにのせる

スタンド前方から後方にすべらせるようにのせ、本体とスタンドの接続部を正しく組み合わせてください。

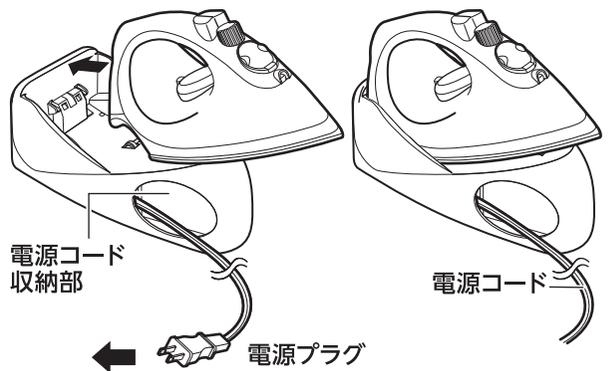
⚠注意

本体をスタンドにのせるときは、接続部に過剰な力を加えない。
接続部の破損、故障の原因となります。

3. 使いかたに合わせて電源プラグをコンセントに接続する

以下、「スチームアイロンの使いかた(7ページ)」・「ドライアイロンの使いかた(10ページ)」をよく読み、準備してから電源プラグをコンセントに接続してください。

電源プラグを抜き差しするときは、必ず温度調節つまみを「切」の位置に合わせてから行なってください。



4. 使用中、通電させるときにスタンドにのせてパイロットランプの点灯を確認する

パイロットランプは通電すると点灯し、温度調節つまみで設定した温度になると消灯します。

5. 使用後は本体の熱が十分に冷めてから電源コードをしまう

電源コード収納部に電源コードをしまってください。

⚠注意

- スタンドに電源コードを巻き付けない。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く。
やけどや故障の原因になります。

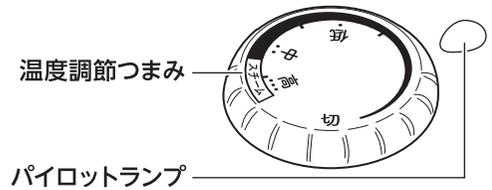
ご使用前に (つづき)

本体のはたらき

温度調節つまみ

電源プラグを抜き差しするときは、スタンドに正しく置いて、必ず温度調節つまみを「切」の位置に合わせてから行なってください。

- 温度を下げたい場合は左へ回してください。
- 温度を上げたい場合は右へ回してください。



ドライ/スチーム切替つまみ

ドライアイロンとして使用する

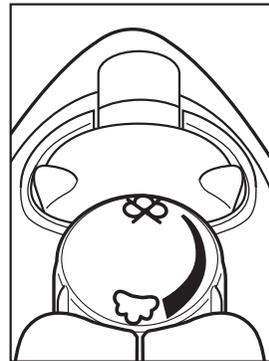
- ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」にするとドライアイロンとして機能します。スチーム用の水の注排水は、この位置で行なってください。

スチームアイロンとして使用する

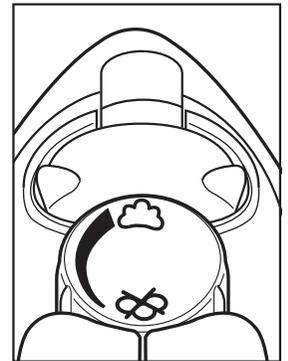
- ドライ/スチーム切替つまみを「スチーム位置」にするとスチームアイロンとして機能します。

※ 温度調節つまみを《スチーム可能範囲》に合わせて使用します。

※ スチームが噴出するまで、約50秒かかります。



「ドライ位置」



「スチーム位置」

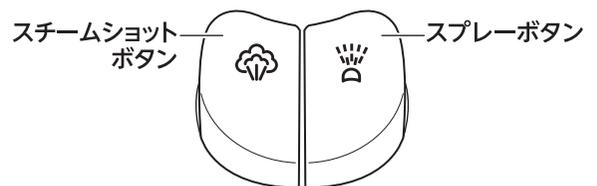
スチームショットボタン

- スチームショットボタンを押すと、水タンクの水が、かけ面にあるスチーム噴出口よりスチームとなって出ます。

※ 温度調節つまみを《スチーム可能範囲》に合わせて使用します。

スプレーボタン

- スプレーボタンを押すと、水タンクの水が本体先端にあるスプレー口よりスプレーされます。



アイロンの設定温度を確認する

アイロンをおかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示があるときは、絵表示に従って、アイロンの温度調節つまみを合わせてください。

絵表示がないときは、繊維名に従って、アイロンの温度調節つまみを合わせてください。

※混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

※布地の上でアイロンを止めたり、極端にゆっくり動かすと、布地に合った温度でも布地を傷めることがあります。ご注意ください。

※使い始めはパイロットランプが消えてから設定した温度に安定するまで約2分かかります。

それより早くアイロンがけをすると、布地を傷める原因になります。

●アイロンの絵表示

家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示規程が改正され、2024（令和6）年8月から、衣類等の繊維製品の洗濯絵表示が、新しいJIS L 0001にならったものに変更されました。

・絵表示の中の点（1～3個）が上限温度を意味します（1個120℃、2個160℃、3個210℃）。

絵表示と温度の関係

アイロンの絵表示				
温度設定位置		低	中	高
布類・布地種		ポリウレタン、ナイロン	絹、毛、キュプラ、アセテート、ポリエステル、ポリノジック	綿、麻
記号の意味（かけ面の温度）	アイロン仕上げ禁止	底面温度120℃を限度としてアイロン仕上げができる	底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げができる	底面温度210℃を限度としてアイロン仕上げができる
設定温度に安定するまでの時間		約2分		

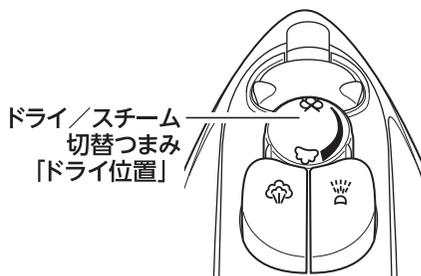
※衣類などの洗濯表示全般についても変更されています。詳しくは消費者庁ホームページなどをご覧ください。

スチームアイロンの使いかた

1 注水 (水タンクに水を注ぐ)

※ 電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

1. ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」にする

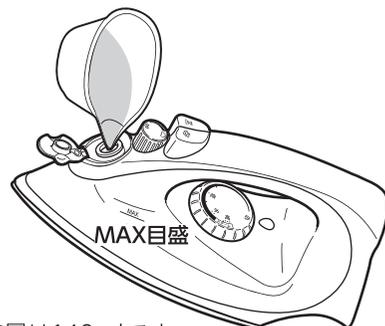


注水するときは、ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせる。「スチーム位置」で水を注ぐと、湯滴が漏れ、やけどの原因になります。

2. 計量カップに水を注ぎ、計量カップから水を注排水口に注ぐ

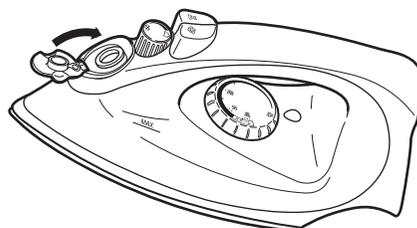


注水するときは必ず計量カップから注水する。上水道蛇口から、直接注排水口に水を注がないでください。故障の原因となります。



• 水タンク容量は140mlです。

- 上水道の水をご使用ください。また、ミネラルウォーター、アルカリイオン水などは使用しないでください。
- 水がこぼれたときは、必ず布でふき取ってください。
- 「MAX」目盛 (140ml) 以上に、水を入れしないでください (「MAX」目盛は本体を水平な場所に置いたときの目安です)。



3. 注排水口ふたを閉める

2 温度調節

1. 温度調節つまみを「切」に合わせる

2. 本体をスタンドに置く

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

4. 温度調節つまみを《スチーム可能範囲》に合わせる

- スチームアイロンとして使用するときには、繊維の種類に関係なく、必ず温度調節つまみを《スチーム可能範囲》に合わせてください。

- 使用中、結露して水タンク内に水滴がつくことがありますが、問題ありません (使用後はドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせて、注排水口ふたをあけて排水し、乾燥させてください)

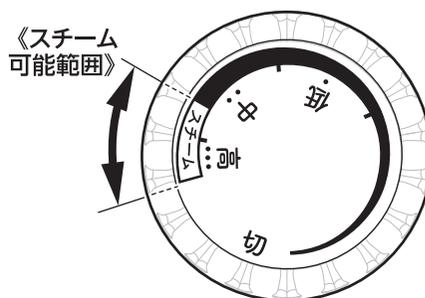


温度調節つまみ

パイロットランプ

- パイロットランプ点灯中、または《スチーム可能範囲》より低い目盛りで、ドライ/スチーム切替つまみを「スチーム位置」に合わせないでください。かけ面のスチーム噴出口から湯滴が出る場合があります。

 注意	<p>注水するときは、ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせる。「スチーム位置」で水を注ぐと、湯滴が漏れ、やけどの原因になります。</p>
--	---



5. 設定した温度になると、パイロットランプが消灯する

③ アイロンをかける

1. パイロットランプが消灯したら、本体が水平になるようにハンドルを持ち上げ、ドライ/スチーム切替つまみを「スチーム位置」に合わせる

しばらくすると、スチーム噴出口からスチームが出ます。

- 本体を逆さにしないでください。水がこぼれて、感電や故障の原因になります。

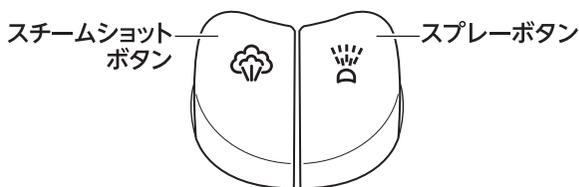
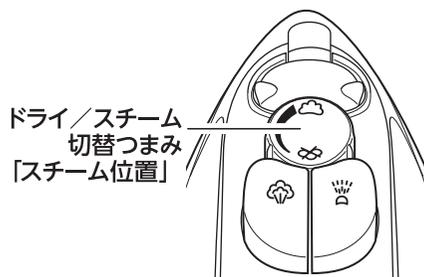
2. 【スプレー機能】本体を水平にしてスプレーボタンを押して本体先端のスプレー口からスプレーする

スプレーボタンは、ドライ/スチーム切替つまみに関係なく、また設定温度に関係なく使用することができます。

3. 温度が低くなったらドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせ、本体をスタンドに戻し、パイロットランプが消灯するのを待つ

温度が下がった状態でスタンドに戻すと、パイロットランプが点灯します。

- パイロットランプ点灯中は、ドライ/スチーム切替つまみを「スチーム位置」に合わせないでください。スチーム噴出口から湯滴が漏れ、やけどの原因になります。
- スタンドに戻したときに少量のスチームが出ますが、異常ではありません。アイロン内部に残っている水が蒸発するためです。



スチームアイロンの使いかた (つづき)

4. 使い終わったら、本体をスタンドに戻し、温度調節つまみを「切」に合わせて、電源プラグをコンセントから抜く

- ・パイロットランプが消灯します。
- ・収納は、アイロンのかけ面が十分に冷めてから行なってください。

※ 収納前に「お手入れと保存」(12、13ページ)をお読みください。



警告

使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めたことを確認してから収納する。
火災ややけどの原因になります。

スチームショットボタンの使いかた

- ・温度調節つまみを《スチーム可能範囲》に合わせてください。
- ・パイロットランプが消えてから、使用してください。
- ・使いはじめにスチームショットが出にくいときは、スチームショットボタンを約5秒間隔で数回空押ししてください。
- ・約5秒間隔より早くスチームショットボタンを押すと、湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- ・タンクの水が少なくなったときは、7ページ「注水(水タンクに水を注ぐ)」手順に従って水を入れてください。

ハンガーに吊したままの衣類

かけ面が、吊した衣類と平行になるように立てて(衣類から約10cm離す)、スチームショットボタンを約5秒間隔で押します。



セーターなど毛製品

シワのあるところに近づけ、衣類から約10cm離して、スチームショットボタンを約5秒間隔で押します。



注意

- ・衣類を身に付けたままスチームショットをかけない。
やけどの原因になります。必ずハンガーなどにかけて使用してください。
- ・耐熱性のあるところでスチームショットをかける。
スチームショットをかける毛製品などは、ハンガーなどにかけて、耐熱性のあるものの上でかけるようにしてください。変形・変色などの原因になります。

ドライアイロンの使いかた

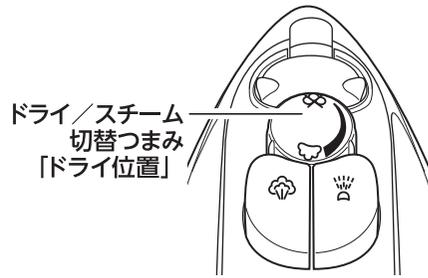
1 温度調節

1. 温度調節つまみを「切」の位置に合わせ、ドライ/スチーム切替つまみを「ドライ位置」に合わせる
2. 電源プラグをコンセントに差し込む
3. 温度調節つまみを使用する布地に合った適切な温度に合わせる

パイロットランプが点灯します。

4. 適温になると、パイロットランプが消灯する

温度設定を変えるときは、一度本体をスタンドに戻し、温度調節つまみを変えてください。パイロットランプが点灯して、かけ面を設定温度まで温めます。



2 アイロンをかける

1. パイロットランプが消えたら、アイロンをかける

ドライアイロンをかけるときは、ドライ/スチーム切替つまみが「ドライ位置」になっていることを確認してください。

2. 温度が低くなったら、本体をスタンドに戻し、パイロットランプが消灯するのを待つ

温度が下がった状態でスタンドに戻すと、パイロットランプが点灯し、適温になると消灯します。

3. 【スプレー機能】本体を水平にしてスプレーボタンを押して本体先端のスプレー口からスプレーする

スプレーボタンは、ドライ/スチーム切替つまみに関係なく、また設定温度に関係なく使用することができます。

4. 使い終わったら、本体をスタンドに戻し、温度調節つまみを「切」に合わせて、電源プラグをコンセントから抜く

パイロットランプが消灯します。

収納は、アイロンのかけ面が十分に冷めてから行ってください。

※ 収納前に「お手入れと保存」(12、13ページ)をお読みください。



パイロットランプ



警告

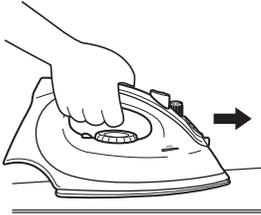
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めたことを確認してから収納する。
火災ややけどの原因になります。

上手な使いかた

アイロンかけの基本

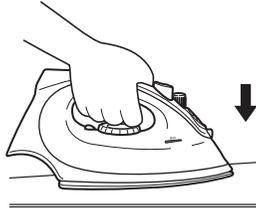
● 軽くすべらす

戻りジワを防ぐために、一方向に軽くかけるのがコツです。



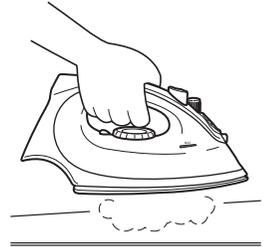
● しっかり押さえる

頑固なシワ、厚手の布地の折り目付けなどは、しっかり押さえるのがコツです。



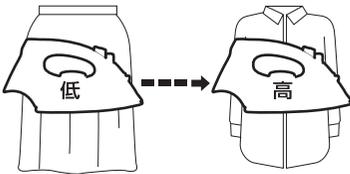
● 軽く浮かせる

ひざの丸味とり、裾や袖口の仕上げは、アイロンを軽く浮かせて、スチームを当てます。



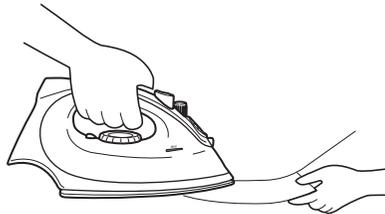
■ 「低」の布地を先にか け、「中」と「高」の布地 を後からかける

高い温度から低い温度へ切り替えても、すぐに温度が下がらず、布地をいためる原因になります。



■ アイロンかけの前に、 布地の端や目立たない 部分で試しがけをする

襟の裏、布地の裏などに試しがけをして、布地がいたまないことを確認してください。



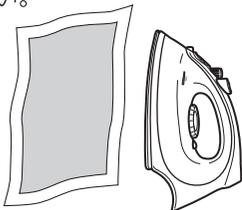
■ ボタンまわりは、かけ面 の先端を使う

かけ面の先端を、ボタンの下にすべりこませるようにしてかけると、きれいに仕上がります。



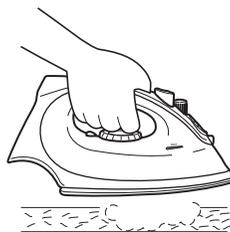
■ ハンカチなど、小さいも のは、余熱でかける

電源を切った後の余熱を有効にご利用ください。また、ドライ/スチーム切替つまみは、「ドライ位置」に合わせてください。



■ 毛足の長い繊維は、浮 かしかけ

アイロンを軽く浮かせて、スチームを当てます。シミ抜きも同じように浮かしかけをします。



■ 適切な温度と湿り気で

アイロンかけするものをできるだけまとめて効率よくおかけください。サツと仕上げるのがコツです。



※ 5ページの表を参考にし布地に合わせて適切な温度調節つまみの目盛りをパイロットランプに合わせます。

■ スプレーのりの使いかた

- 洗濯物がよく乾いてから、お使いください。
- アイロンは、繊維の適温で、ドライにして使用します。
- 一度に多量のスプレーのりをかけると、こげつきの原因になります。
- 少し固めに仕上げたいときは、スプレーのり→アイロンかけ(ドライ)を繰り返します。
- スプレーのりを使用した後は、かけ面が十分に冷めてから、かけ面をぬれた布で拭いてください。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めるまで待つ。
感電やけが、やけどの原因になります。

使用後のお手入れ

1. 温度調節つまみを「切」に合わせる

※ドライ/スチーム切替つまみが「ドライ位置」になっていることを確認してください。

2. コンセントから電源プラグを抜く

3. 本体が十分に冷めてから注排水口ふたを開け、タンクの水を捨て、注排水口ふたを閉める

4. かけ面が十分に冷めたことを確認してから収納する



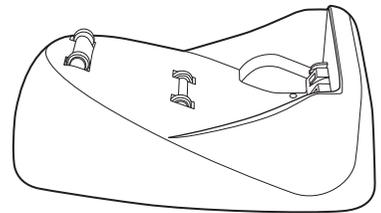
スチーム噴出口をつまりにくくするには

スチーム噴出口をつまりにくくするには、手順3のあとに、再びコンセントを差して通電させて、温度調節つまみを「高」に合わせ、1度パイロットランプが消えるまで給電してください。

その後、手順1、2を実施したあとに本体が十分に冷めてから収納してください。

アイロン本体・スタンド

- 乾いた柔らかい布でやさしくから拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となります。)
汚れがひどいときは、ぬるま湯か食器用中性洗剤を浸してかたくしぼった柔らかい布で拭きとってください。
- 本体・スタンドは水をかけて洗わないでください。感電・故障の原因になります。
- 住宅用洗剤やシンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

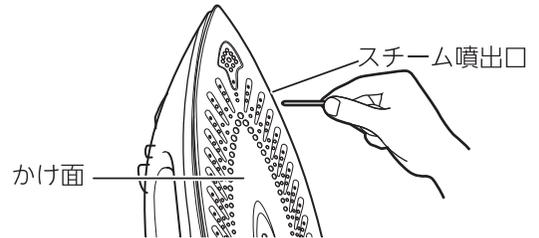


スタンドの接続部に針金やピンなどで触れない。ホコリを付着させない。
感電の原因になります。お手入れするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れと保存 (つづき)

スプレーのりを使用したときのかけ面

- スプレーのりを使用したあとは、必ずかけ面をお手入れしてください。
- かけ面が十分に冷めたことを確認してから、ぬるま湯か食器用中性洗剤を浸しかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- お使いになったあと、なるべく早くお手入れを行なってください。
- 住宅用洗剤やシンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などは絶対に使わないでください。故障の原因となります。



スチーム噴出口がつまったとき

- ようじなどを使って、スチーム噴出口を掃除してください。
- 掃除した直後は、布地を汚すことがありますので、必ず不要な布の上で数分間スチームを出してから、汚れが落ちたことを確認してお使いください。

修理・サービスを依頼する前に

警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

確認するところ	症状						処置 直らないときは修理を依頼ください
	熱くならない	スチームが出ない	スチームが少ない	スチーム穴から水が漏れる	かけ面の腐食	溶ける 布地がこげたり、	
電源プラグ	●	●					コンセントに電源プラグを確実に取り付けてください
接続部分 (本体・スタンド)	●	●					接続部の汚れ、ゴミの詰まりを取り除く
温度調節つまみ	●	●	●	●		●	目盛りの位置を確認してください
パイロットランプ		●	●	●			パイロットランプが消灯してから使用してください
ドライ／スチーム切替つまみ		●	●				ドライ／スチーム切替つまみを「スチーム位置」にしてください
				●			注水時や加熱する前に必ず「ドライ位置」にしてください
スチームショットボタン		●	●				約5秒間隔でスチームショットボタンを数回から押ししてください
スチーム噴出口		●	●		●		「お手入れと保存」(12～13ページ)を参考にお手入れしてください
使用後の排水					●		「使用後のお手入れ」(12ページ)を参考に必ず排水をしてください
繊維製品の絵表示						●	目盛を適温に合わせるか、あて布をしてください

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

アフターサービスについて

●製品の保証について

- この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは



警告

- 故障のときは、ただちに使用をやめてコンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証書

コードレス
スチームアイロン

BIM-CSI01H

修理

保証期間	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ場所			
お客様	ご住所	〒000-0000		
	電話			
お客様	お名前	ふりがな		

本書は、下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は本書の提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書に所定事項の記入がなかったり、または販売店印がない場合は必ず販売店にお持ち込みください。お買い上げの日、店名などを安全点検などの作業をする必要がある場合、お客様にご記入いただき、必ずお読み直しは、保証期間内のサービス活動およびそのための記載内容を利用させていただく場合がございます。ご了承ください。

お買い上げ店	お名前	印
電話		

販売店様へお願い この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずご記入ください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、ドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。
- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書きかえられた場合
 - 故障の原因が本製品以外(電源、他の機器など)にあつてそれを点検、修理した場合

- 一般家庭用以外(例えば、業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の故障および損傷
 - 腐食による故障および損傷
 - 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷
 - 内蔵バッテリーなどの消耗品交換
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ※この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。
- ※お買い上げの販売店にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃諸掛りににつきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは保証書をお手元にご用意の上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート

<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話からの
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00(祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付けることができません。

修理品
発送先